

会 議 録

会議の名称	令和6年度 川越市児童館運営委員会
開催日時	令和7年3月27日（木曜日） 午後2時 開会 午後3時40分 閉会
開催場所	児童センターこどもの城 視聴覚室
議長（会長）氏名	議長（会長）武藤寛史
出席者（委員）氏名（人数）	赤間ゆりか 萩原和子 高栖敦子 鳥居麻理子 服部孝 水谷薫 鈴木敏子（7人）
欠席者（委員）氏名（人数）	細田旅生 遠藤千絵 （2人）
事務局職員職氏名	こども育成課長 太田 康之 こども育成課副主幹 富山 隆史 児童センターこどもの城館長 野村 博之 川越駅東口児童館長 高階児童館長 藤井 香代子
会議次第	1 開 会 2 こども育成課長あいさつ 3 運営委員及び事務局職員自己紹介 4 正副会長選出（会長 武藤寛史・副会長 細田旅生） 5 会長あいさつ 6 議事 （1）令和6年度各児童館の利用状況及び令和7年度各児童館の事業案について （2）その他 7 連絡事項 8 閉会
配布資料	1 川越市児童館運営委員会次第 2 川越市児童館運営委員会委員名簿 3 児童館利用状況・令和7年度児童館事業計画案 資料1～2 4 プレーパーク実施概要 資料3

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	《会議の成立について》 ・ 委員会の成立について報告（委員 8 名出席） ・ 傍聴希望者なし
事務局	1 開会 2 こども育成課長あいさつ 3 会長あいさつ 4 運営委員及び事務局職員自己紹介 5 議事
事務局	「(1) 令和 6 年度各児童館の利用状況及び令和 7 年度の事業案について」 令和 6 年度各児童館の利用状況について 資料 No. 1 より説明 (質疑なし)
事務局	令和 7 年度の事業計画について 資料 No. 2 より説明 (質疑応答、意見)
委員	プラネタリウムの収入の使い道はどうなっているのか。
事務局	財源は、プラネタリウムの修繕の財源ではなく児童館事業全体の財源として使用している。
委員	年間のメンテナンス費用はどのくらいかかるのか。
事務局	年間のメンテナンス費用は、収入が 20 万円弱で維持費にはメンテナンスの契約費に 200 万円かかる。
委員	クラウドファンディングなどで費用を集めるなど、川越市ではやっていかないのか。
事務局	プラネタリウムを含めて建物も同じ年数の 40 年が経っているため、建物を建て直すか、児童館をどうするかを考える時期に来ている。

事務局	プラネタリウムもデジタル化して、児童館も新しくしていくと、2億から3億かかってしまうため、クラウドファンディングだけでは厳しい。 こども計画の中の児童館機能の整備について、子どもの城は老朽化のため施設整備の改修、利用者ニーズを含めた館内プレーエリアと外の広場の、若者を含めた子どもの居場所の機能の役割を検討していきたい。計画に基づいて予算が取ればプラネタリウムのあり方も含めて検討を進めていきたいと考えている。
委員	上のお子さんがつどいの広場に参加できる対象ではなくなったときに、上のお子さんを連れてどこにあそびに行けばいいのかという質問を受ける。そんな時、「川越には児童館が3つあって児童館ならあそべますよ」とご案内するが、小さいお子さんを連れて、さらに元気に遊ぶお子さんが児童館の目の届かないところで安全に遊ぶかを心配しているので、「児童館では春休み小学生が遊んでくれるよ」と伝えるが、そこの繋がりに、壁を感じる時代で「ちょっと児童館は怖くて」という方もいる。そこを、ユニバーサルになるような視覚が出来るといいのではないか。
事務局	現状、子どもの城では、親子、小学生で来館している。近隣の小学生は小学生だけで遊んでいる場合と、親子で来る場合とあって小学生は小学生でドタバタしてドッジボールをしたりしているため、そこに小さい子が入るのはなかなか難しく危ないなという顔をされて一緒にはあそべない。そのためエリアも分離されてしまい、小学生は単独であそんでいる。プラネタリウムのスペースでは、カードゲームや親子連れがあそび、プレールームは小さい子があそぶというように、どうしても隙間が出来てしまう。 そこを、すり合わせるために運動会をやっている。しかしその中では交流できるが日常なかなか交流できないのが現状。その部分がうまくいくと、児童館の立ち位置も良くなっていくが難しい。中学生は卓球でかたまってあそぶ。小学生も高学年になると友達同士でまとまってあそぶ。親子連れは親子だけであそぶ。知っている親子同士での利用ではあそぶが、他の家族とはあそばない。

	ここにきて外国の方が増えてきているが、国籍が違うとなおさら、親子だけで固まってあそんでいる。コミュニケーションが取りづらく、借りたいおもちゃがあっても借りられずどうしようかという表情でいるのを小学生は見ても声をかけることはない。そこで相互が歩み寄れるように考えていかなければと考える。まだ努力段階。
事務局 課長	概ね3歳までという縛りがあって、小さい子と5歳と6歳の子と一緒につどいの広場の中で保育するのは難しいという状況がある。児童館でつどいの広場が開ければ、そういった懸念も解消される。児童館では、わくわく広場は週1回あるが場合によっては拡大するなどして兄弟でも遊べるような場所を少しでも増やしていけたらと思う。意見箱も市民の方からきているので少しでも改善できたらと考えている。
事務局	メールのなかで、備品が古い、おもちゃが古い、本も古い、数も少ないなどの苦情が多いが、お金のかかるものなのでなかなかすぐには買えないので苦労していたところ、プチソロミスト様より50万円の寄付があり児童館3館で使わせてもらい、キャタピラマットやおもちゃなどを買う事が出来た。本については企業からの寄付や、中央図書館であまり読まれなくなった本をわけていただき新しくしたり、おもちゃもある程度新しくしてあそんでいけるような努力もしていかなければならない。財源も色々なところから、貰うばかりでなく使われない物を譲ってもらうことも必要。
課長	定期的に川越市に寄付があり、子育て世帯に使ってくださいと言われるものがある。そうなることども未来部のなかで「どこに使おうか」という話し合いがあり、積極的に児童館に下さいと取りに行くような形で今回は貰う事が出来た。今後また寄付があった場合には積極的に部内で取りに行きたいと思う。
委員	本の寄付というお話がありましたが、幼稚園にも寄付というコーナーができあがっていて声をかけるとよいのではないかな。
委員	事業計画で音楽に関する事業が少ないような気がする。身体を動かすことに関してだけでなく、赤ちゃんから上の子の方ま

事務局	で楽しめるというものもいいのではないかと思います。 もちろん、ボランティアとして参加してくれる団体さんもたくさんあるので利用してもらえると嬉しい。 昔からの事業をずっと続けるのではなく状況に合わせた事業というのにも必要なので、その時は事業協力者を教えてもらえると助かる。
委員	やまぶき会館でそのような人材グループを作っているので利用すると良い。
議長	他に質問はありますか？ なかったら（２）その他に移りたいと思います。 事務局から何かありますか？
事務局	資料３のプレーパークの実施概要説明について
議長	質疑応答・意見あるか
委員	新河岸駅前で開催される「わくわくフェスティバル」の実行委員をされていて、最初の段階ではその場所でプレーパークをするというお話があったのですが、途中から話が出てこなくなった。課長から話を聞くと「人がたくさん集まるところは難しい」ということだった。新河岸を盛り上げようというお祭りなので高階の児童館もお祭りの中のブース等に関わったりすることは可能か。
事務局	今年度はフェスティバルの日が運動会だったため、「運動会が終わったらフェスティバルへ行こう」との声掛けはしていた。
課長	どのような形で支援できるか外に出ていく経験はあまりなく、中に来てもらう感じだが何か協力できるものがあればしていきたいと考える。
委員	市民センター内の「ひととき（喫茶店）」はお店を出して、参加しているので、図書館や児童館もそんな形で地域の中に関わると、児童館に行ってみようかなと子どもたちが思い利用が増え、地域の中にあるという感覚がうまれるのではないか。

事務局	来年度から、高階地区の子育て世代の方向けに 高階公民館・高階図書館・高階児童館・高階南公民館の 事業案内を作っていく予定なので、少しずつ地域にも広がっ ていくのではと思う。 フェスティバルでもできるようなことがあればと参加でき ると良い。
委員	フェスティバルをアピールの場にしてもいいのではと思う。
議長	他にご質問はありますか。
委員	センターなどの事業はホームページを見ればわかるのか。
事務局	ここで市のホームページもリニューアルし、以前よりは分か りやすくなったのではないかと思います。 児童館→3館→イベント情報→3, 4月と順番に観ていく。 イベントカレンダーもできて日ごとにどこで何をやっている かがわかりやすくなった。そのためホームページをスマホで見 たり、配信メールなどを見てきましたという方も増え、市街の 方も多く利用してくれている。
事務局	補足で、こどもホームページというのが出来た。そこにみん なの居場所から遊びたいという所に児童館の3館があり 子どもからもアクセスできるようになった。ホームページがリ ニューアルした事も、利用者が伸びてきている一因なのではな いかと思う。
委員	こどもホームページとはどういうものか。
事務局	市のホームページの下の方にこども向けのホームページが 新たに開設されているもの。ただ、市内の学校などへ周知が図 られているのかは、確認できていない。
委員	子どもたちの中でホームページの話を聞いたことがなかつ たので子どもたちは知っているのかと思って。
委員	児童館は3館で増えないのか。 子どもたちは校区内と決まっていって校区外に出られなくて

事務局	行くときは親とでるため、ある程度地区ごとにもう1つ2つあるといいのかという希望があります。 児童館と直接ではないが、こども育成課で子どもの居場所事業をすすすく川越の方でやっている。それ以外に中学生に少年の翼事業もやっている。その中で、中学生が自分の地元の近くで勉強できる場、過ごせる場が欲しいという声がある。その中で今公民館と協議をしているところで、公民館の空きスペースや空き部屋を解放できないかという事で、検討している。まだ数は少ないが、実際始めているところもある。大東とか霞西は中高生に実際部屋を開放している、そのほかもう2つ3つ増やせるか検討しているところ。来年度になれば初められる予定。児童館を増やすという話とは違うと思うが、子どもの居場所という事で大きなくりの中では、考えているということでご理解いただければと思う。
委員	名細公民館にも小学生が多く来ている。公民館をいろんな形で対応させ、やれる内容は、委員の問題や予算の問題などいろいろあるので難しいところはあると思うが、少しずつ前に進めることは大切なことだと思うので頑張ってもらいたい。
委員	確かに名細や南古谷の方など、市内中心部以外にも児童館があるといい。特に南古谷など児童数が多いので。
事務局	週末などは親子で南古谷方面からきて「いいですね ここにあって」と言われてしまう。子どもの城近辺では、今成、月越、山田小と、エリアが決まってしまってその子どもたちが来るので、「この地区はいいよね、ここにあっていいよね」と言われてしまう。
委員	大東に新しい公民館が出来た時に、そこに隣接して児童館を作ればよかったと思う。公民館などを新しくするときに児童館を増やしていけば、南古谷の方や大東の方や名細の方にも増えていくのかなという希望。今遊ぶ場所が限られてしまって親御さんも心配。児童館の中ではとても楽しそうで、安心して遊べる場なので増えるといいのではと思う。
議長	他にご意見等ありますか。 それではこれにて議事を終了し、事務局にお返しします。

事務局	ありがとうございました。 事務局からその他はなし。 これをもちまして、本日の児童館運営委員会を終了します。 本日はありがとうございました。 (散会)
-----	---